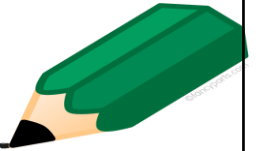


せき 関っ子 がくしゅうの8つのやくそく



①せいせいとん

ひき出しの中なか…右は教科書みぎやノートきょうかしょ。左はのりやクーピーなどいつもおいておくものひだり

ロッカーやひき出しだの中なかは、いつも使いやすいようにきれいにしておこう。

②がくしゅうのもちもの

じゅぎょうにひつようなもの（がくしゅうのもちもの・しゅくだい）を
わすれないように用意よういしよう。わすれてきた時ときは、きちんと先生せんせいに言おう。

③チャイムせき

チャイムのあいずでがくしゅうがはじまるようにじゅんびをして、
せきにつき、しずかにまとう。

④あいさつ

じゅぎょうのかじまりとおわりのあいさつをしっかりしよう。

⑤姿勢

ただただ正しいしせいでがくしゅうしよう。

「しせいを正ただしましょう。」
「はい。」
「今いまから〇時間じかん目の口のペン
きょうをはじめます。」
「はい。」

⑥はなす

なまえなまえ名前をよばれたら、「はい」とへんじをして、「～です。」「～ます。」まではっきりとはなそう。

はなす時ときは、声こえの大きさに気おおをつけ、みんなにきこえる声こえではなそう。

⑦きく

きくときは、はなす人からだに体からだをむけ、さいごまでしずかにはなしをきこう。

うなずくなど、はんのうしながらきこう。

⑧かく

えんぴつを正ただしくもって、ていねいな字じでかこう。

したした下じき・じょうぎを正ただしくつかおう。